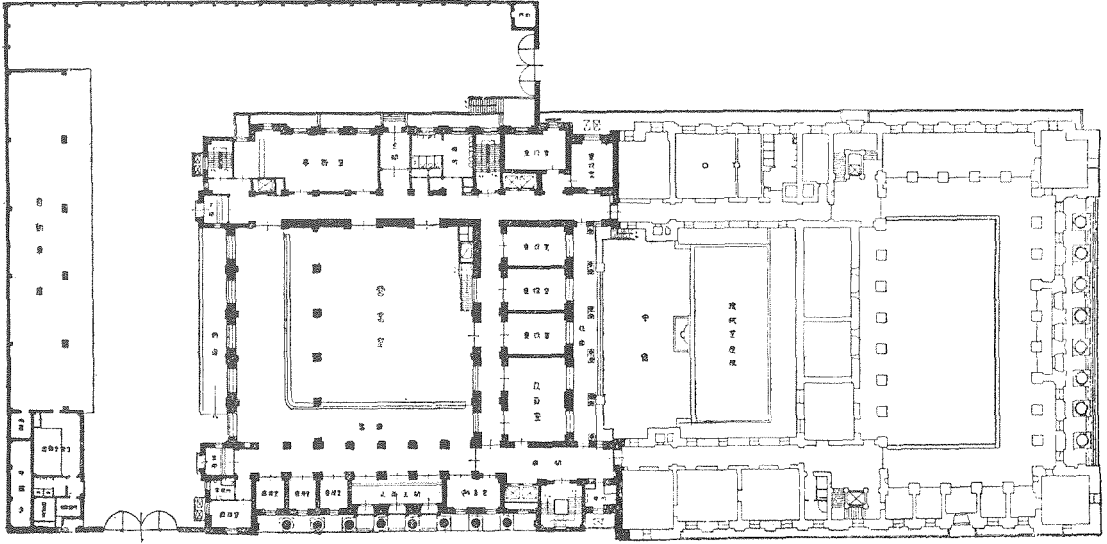


(1) 正面外觀。

株 式 會 社  
三 菱 銀 行  
增 築 工 事

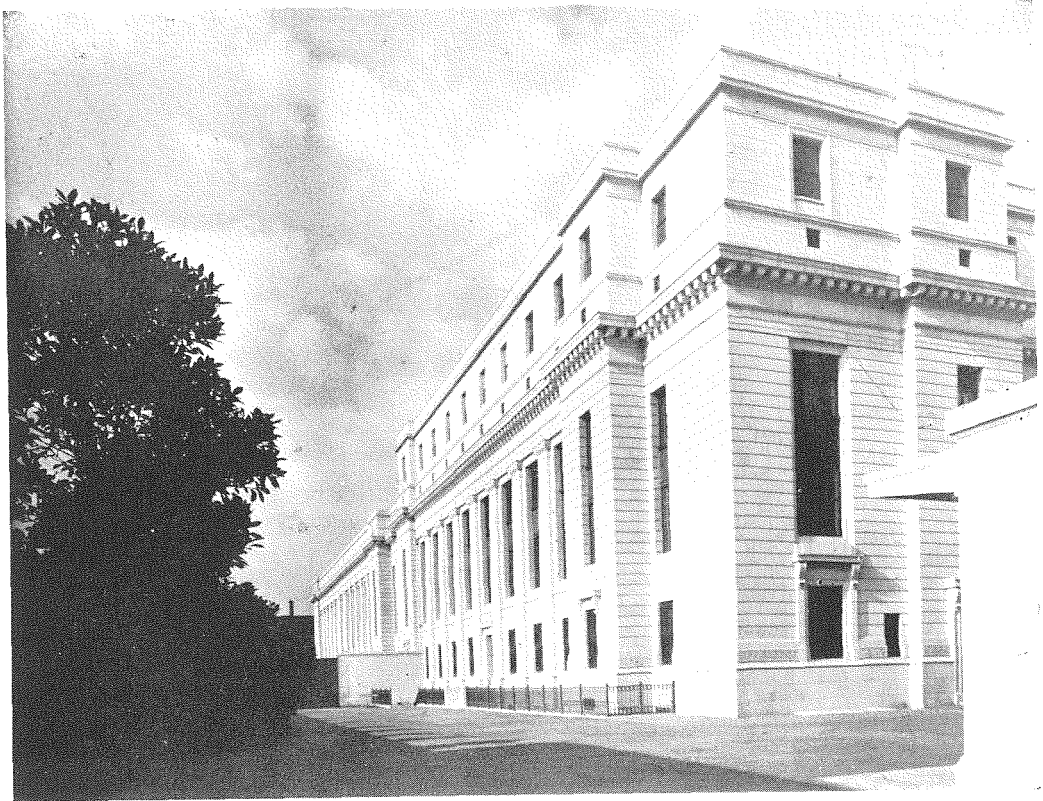
設計・三菱合資會社地所課  
施工・株式會社大林組



會館平面圖

(2) 1階平面圖。

(3) 背面外觀。

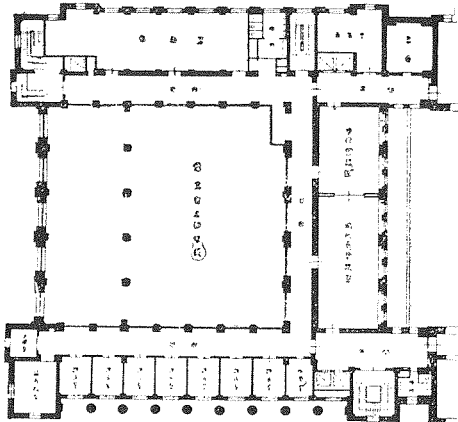




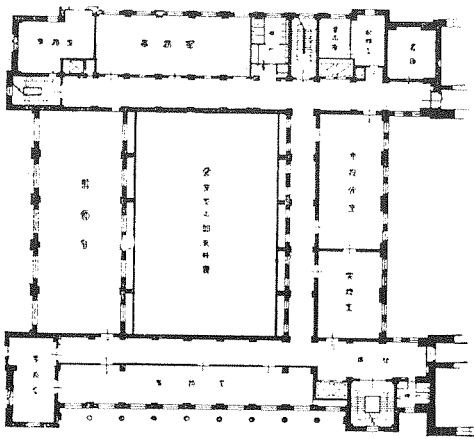
(4) 正面入口。

(5) 玄関。

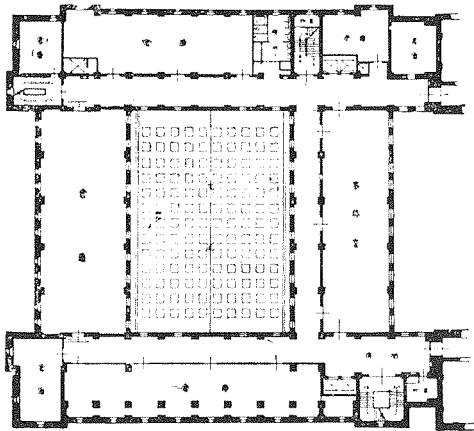




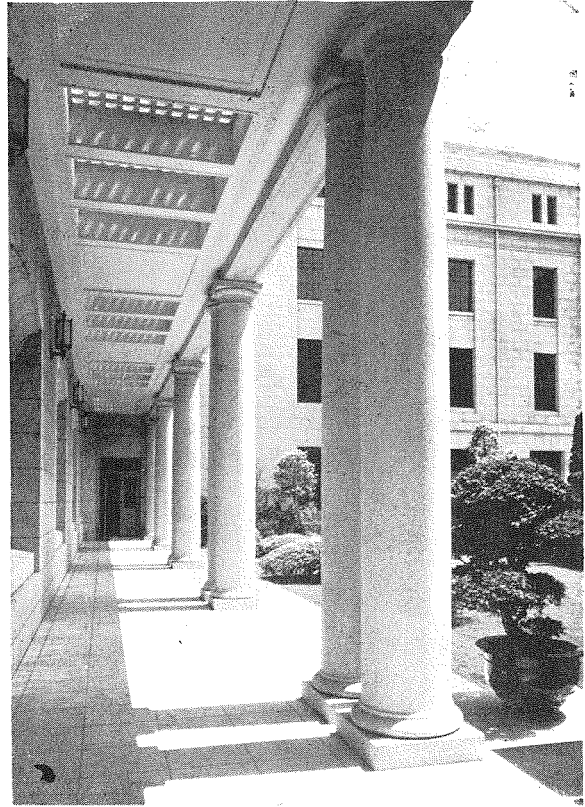
(7) 2階平面圖。



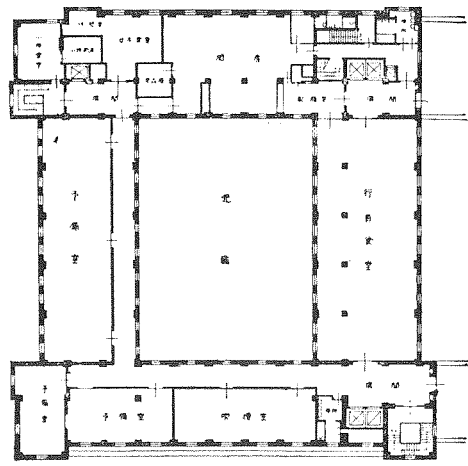
(8) 3階平面圖。



(9) 4階平面圖。



(6) 中庭の一部。



(10) 5階平面圖。



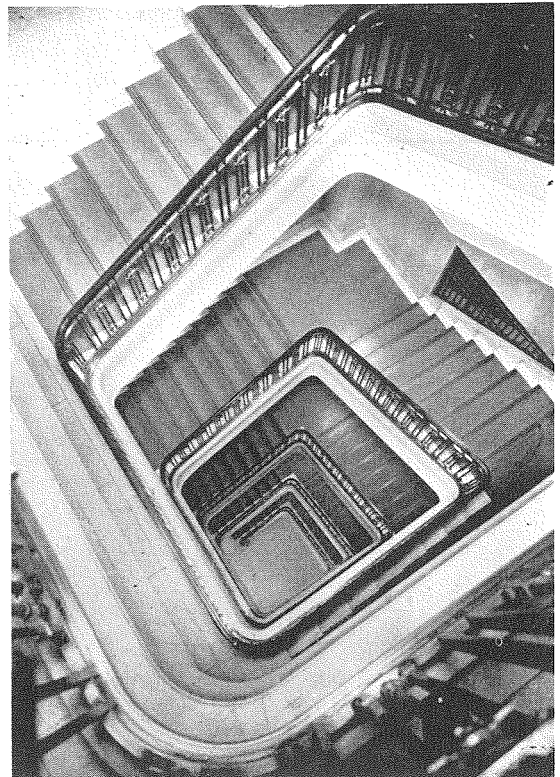
(11) 營業室客溜。

(12) 客溜より營業室を見る。





(13) 營業室の内部。



(14) 主階段俯瞰。

# 工 事 概 要

## 位 置

東京市麴町區丸ノ内二丁目五番地

## 敷 地

南北 81間59 東西 40間10  
(3,265坪528)

## 建 物

間口(南北) 184尺  
奥行(東西) 179尺  
面積 建坪 819坪912  
延坪 4,148坪971  
階數 地上5階 地下1階  
高さ 地上より扶壁上端まで 73尺75  
地上より塔屋最高部まで 84尺10

## 建物面積内訳

本館	地階	974坪157
	1階	819坪912
	2階	491坪193
	3階	583坪759
	4階	603坪534
	5階	559坪056
	塔屋	43坪110

他に附屬家 機械室 74坪25  
請願巡查詰所、自動車々庫 150坪51

## 様 式

近世復興式

## 用 途

地階 金庫室、小使室、更衣室、倉庫、電話室、機械室等

1階 營業室、客溜、事務室、重役室、應接室等

2階 事務室、監査役室、課長室、貴賓室、會議室等

3階 事務室、集會室、重役食堂、同喫煙室等

4階 事務室、倉庫等

5階 厨房室、行員食堂、同喫煙室、豫備室等

塔屋 「タンク」室、機械室

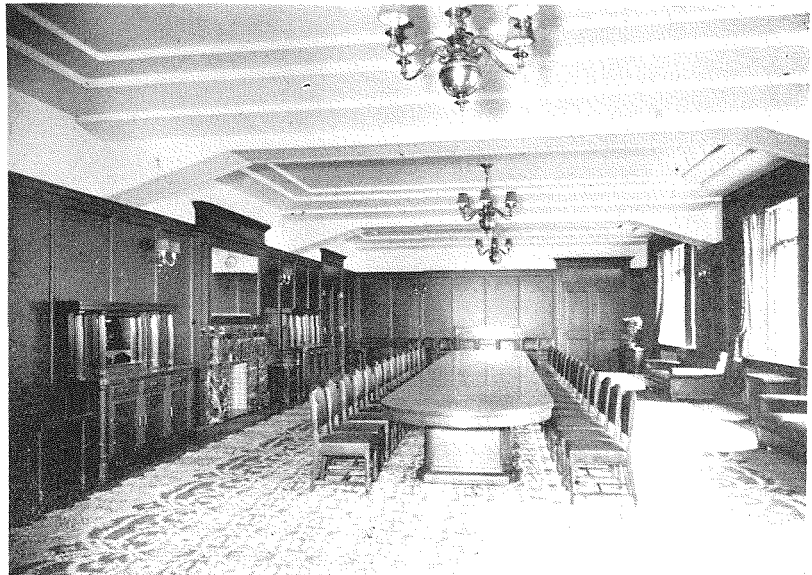
## 基 礎

地上22尺總堀、米松杭打、鐵筋「コンクリート」地形とす

## 主體構造

鐵骨鐵筋「コンクリート」造

## 外部仕上



(15) 役員食堂。

全部茨城縣稻田産花崗石積

#### 内部仕上

各玄関、床壁、花崗石水磨貼、天井漆喰「ペンキ」塗、營業室床「リノリウム」敷、壁伊太利産大理石貼、天井銅板打出し「ペンキ」塗採光硝子入れ、客溜床、壁、大理石貼、天井銅板打出し「ペンキ」塗、一般事務室床「リノリウム」敷、壁天井漆喰「ペンキ」塗、各重役室、重役食堂、同喫煙室、貴賓室、會議室床寄木貼、壁「チーク」高羽目又は緞子張、天井漆喰「ペンキ」塗、集會室床壁同上天井「セロテックス」貼、行員食堂床「フロアリングブロック」貼、喫煙室床「モザイクタイル」貼、腰「タイル」貼、天井漆喰「ペンキ」塗仕上とす、機械室、便所、厨房、配膳室等床、腰「タイル」貼、壁漆喰、天井「メタルシーリングペンキ」塗、各倉庫床「リノリウム」敷、壁天井漆喰塗とす

#### 建具

外部窓すべて「スチールサツシュ」網入硝子入れ表側一階は二重「サツシュ」とす、一階廻り「スチールシャッター」付、外廻

り一階營業室廻り「ブロンズ」製其他「スチールドア」とし、重役室、重役食堂、同喫煙室等は「チーク」扉とす

#### 附帯設備

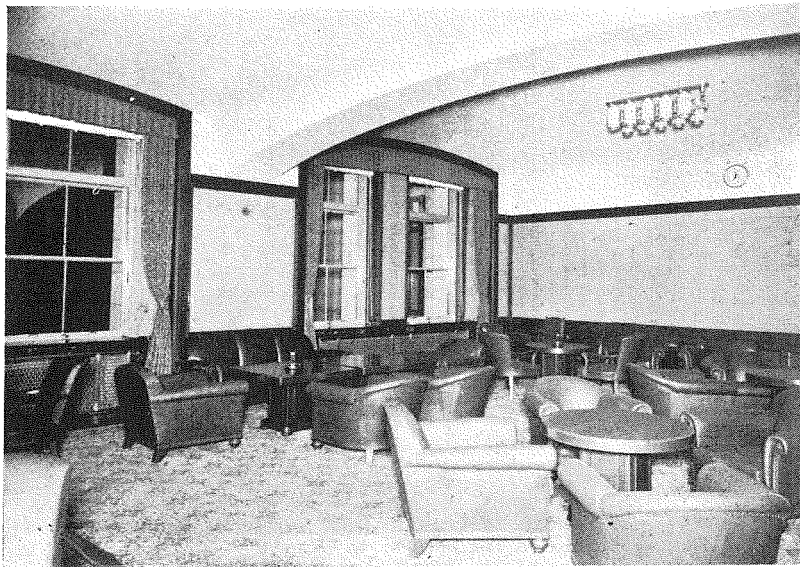
〔強電設備〕東京電燈株式会社より 3,300「ヴォルト」にて受電し一部分高壓電動機に配電する外變壓器により所要の低壓に降壓して電燈及電動機に配電す、停電時自動切替装置により建物要所々々に送電し得る 810「アンペアアワー」の蓄電池を設備す、電燈 2,000 燈、高壓電動機 2 臺、低壓電動機 110 臺を設く

〔弱電設備〕電話交換機は八座席共電式とし外に放聲装置、構内専用電話を設備す電氣時計は直流式とし各室及各要所に配置す

信號用として卓上型「ランプ」式各種信號装置、火災報知機を設備す

〔昇降機設備〕客用直流可變電壓二つ鉤多數呼制禦押釦昇降機 4 臺、貨物兼客用交流二段速度押釦昇降機 1 臺、同「サービス」用 1 臺、料理用「リフト」1 臺を設備す

〔衛生設備〕飲料、厨房、手洗用としては



(16) 役員喫煙室



市水道管を中庭機械室に引込み「ポンプ」により屋上水槽に揚水各所に給水す、消火栓、冷房装置用、便所、掃除流し、撒水等の雑用水は鑿井より「ボアホールポンプ」並に「エアリフト」装置により機械室床下「タンク」沈砂槽を経たるものを屋上「タンク」に揚水し各所に給水す給湯用として「ストレージヒーター」2臺を設備し一つは厨房専用とし其他は洗面流し其他一般用とす

給湯加熱用並に厨房用として専用汽罐二基を設備す

〔排水設備〕 1階以上雨水雑用水汚水等の排水は直接屋外下水道に放流、地階のものは「ピット」に集め自動的に「ポンプ」により屋外下水に放流す

〔防火並に消火設備〕 消火栓合計36個を各階要所に配し屋上水槽並に消火「ポンプ」に接続す、消火「ポンプ」には豫備原動機として「ガソリンエンジン」を設備す、又館内に火災報知機を設け消防署に通ぜしむ

〔通氣、煖房及冷房設備〕 營業室及1階主

要室は送風路により煖冷房を行ふと同時に換氣法も兼用するものにして其他は直接煖房法とす

煖房は舊館地階汽罐室に「ストーカー」焚き「クワニー」型汽罐三基並に附屬「ポンプ」類を設置し各所放熱器送風加熱器に送るものとし冷房は地階中庭機械室に「スタテバント」型複式120噸能力の冷凍機二基、並附屬装置一式を設備し空気を冷却の上更に減濕して各所に送風するものとする、送風機室には空氣濾過器、空氣洗滌器、背翼送風機等を設備す

〔氣送装置〕 書類の送達用として1階營業室に眞空式傳送管を設備す

## 工 程

昭和9年6月18日 地鎮祭

同 7月1日 起工

昭和12年3月31日 竣工

設計及監督 三菱合資會社地所課

實費精算 株式會社大林組  
工事受託者



(17) 行員喫煙室。